

シリウスビジョン株式会社と連携したグラビアシリンダー版面検査装置を開発

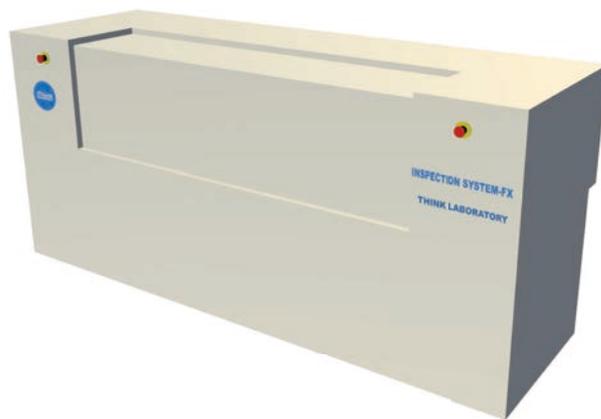
株式会社シンク・ラボラトリー（本社：千葉県柏市 代表取締役：重田 龍男）は、画像検査システムを製造するシリウスビジョン株式会社と共同開発した最新のグラビアシリンダー版面検査装置について概要を発表します。弊社で実績のある自動レーザーグラビア製版システム内に組込むことで、製版後の手動検査工程の負担を軽減する完全自動検査ラインとして構築可能です。詳細については、実機デモを含めて2024年1月31日（水）～2月2日（金）で開催されるコンバーテック・ジャパン2024にて展示致します。

INSPECTION SYSTEM-FX

分解能10um/画素の検出能力

5分以内で検査完了(1100×600シリンダー)

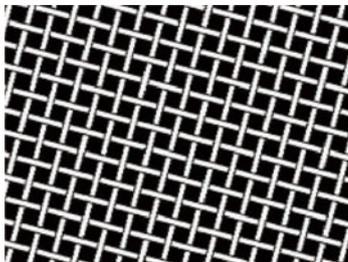
AIで欠陥箇所の自動分類、選別、マーキング可能



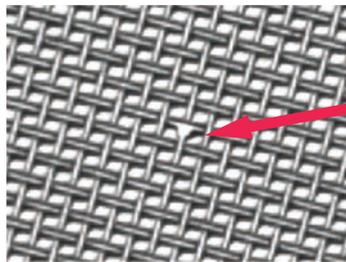
ヘッド部



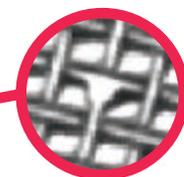
RIP データ (1bit TIFF)



撮像画像



検出欠陥画像



自動版面検査機搭載NewFX3ライン

NewFX3 ライン内に組み込む検査機は、従来のスペース同様、幅 16m、奥行 10m 内に収まります。

最終工程のクロムめっき面の検査が追加になりますが、全体のタクトタイムや生産性には影響なく従来モデル同等の能力を維持します。

MMI 上では検査済みシリンダーの状況が、ひと目で分かるようになります。また銅面やレジスト面も柔軟に検査可能となっており、2024年初旬には当社内に検査機を搭載したデモラインを公開予定です。

